

家も車も、気づけることが新しい防犯になる。

## 夏休み、防犯は「留守をつくらない」ことから。

— 住宅侵入・車両盗難に共通する"不在リスク"とは

夏休みやお盆休みを前に、帰省や旅行の計画を立てる人も多い7月。一方で、この時期は住宅や車を取り巻く防犯リスクが高まる季節でもあります。

近年は住宅侵入や車両盗難の手口が巧妙化し、「鍵をかけているから安心」とは言い切れなくなっています。では、犯罪者は何を見ているのでしょうか。

今回は、夏休みシーズン特有の「不在リスク」に着目し、住宅と車の防犯について考えます。

## 家だけではない。車も「留守」になる

近年、住宅侵入や車両盗難は全国各地で発生しており、その手口も組織化・巧妙化しています。

2026年 東京都内で、強盗目的で住宅敷地内に侵入した男が逮捕されました。警察は、**別々の犯罪グループが同じ住宅を狙っていた可能性**も視野に捜査を進めています。また車両盗難では、高級車を狙った組織的な犯行が相次ぎ、ランドクルーザーなど特定車種を狙うケースも継続しています。

また、2025年には、家族旅行で宿泊していたホテル駐車場からランドクルーザーが盗まれる被害も報じられました。所有者は前夜まで異常に気付かず、翌朝になって車がなくなっていることを知ったといいます。

また、コンビニやレストラン、旅行先の駐車場など、自宅以外の場所で被害に遭うケースも報じられています。

自宅を留守にすることは意識していても、旅行先で駐車している車まで防犯の対象として考える人は多くありません。しかし、所有者の目が届かず、周囲にも異変に気付く人がいない環境は、車にとっても"留守"の状態と言えます。これも夏休みシーズン特有のリスクと言えるでしょう。

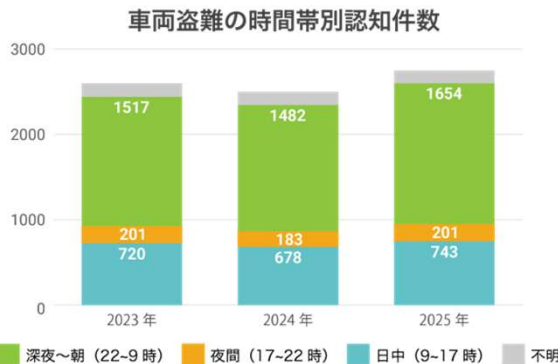
警察庁によると、自動車盗の発生場所で最も多いのは「一般住宅」で45.2%を占めています。一方で、「駐車場」での発生も**27.9%**と高い割合を占めており、前年比108.3%と増加しています。車両盗難は決して特別な場所で起きるものではなく、自宅や普段利用する駐車場、旅行先など、身近な場所で発生しているのが実態です。

車両盗難発生場所	割合
一般住宅	45.2%
駐車場	27.9%
道路上	3.1%
その他	23.8%

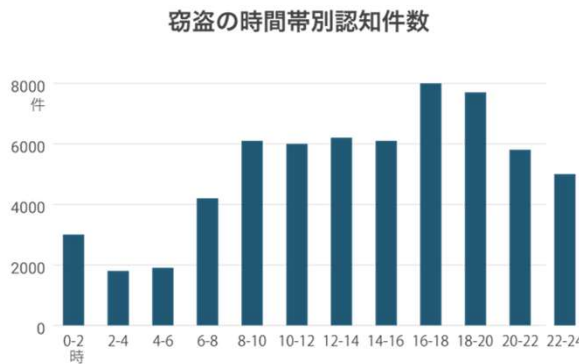
警察庁「自動車盗難等の発生状況等について」をもとに作成

## 犯人が見ているのは「気づかれにくい時間」

犯人が見ているのは"気づかれるかどうか"。そして近年は、その判断材料も変化しています。



日本損害保険協会「第27回 自動車盗難事故実態調査結果」をもとに作成



警視庁「警視庁の統計(令和6年)」をもとに作成

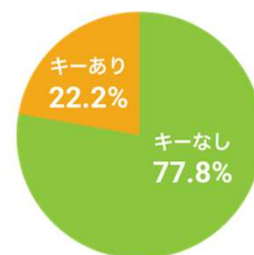
実際、車両盗難は深夜から早朝にかけて多く発生しています。一方、窃盗被害は日中にも多く発生しています。つまり犯罪者が狙っているのは、「暗い時間」ではなく、「**人がいない時間**」、「**異変に気づかれにくい時間**」とも言えるのです。

## 鍵だけでは防げない時代へ

防犯対策というと、鍵の強化や防犯カメラの設置など、設備面に目が向きがちです。しかし住宅侵入も車両盗難も、近年は手口が大きく変化しています。

車両盗難ではCANインベーターやゲームボーイなどにより、鍵を持ってなくても盗難が可能になりました。警察庁によると、キー無しでの盗難比率は**77.8%**と過去最高値となっています。また、住宅侵入では、SNSへの投稿や生活パターンなどから不在を把握したうえで犯行に及ぶケースも指摘されています。

車両盗難におけるキー無しの割合



※「キーあり」とは、エンジンキーがイグニッションスイッチに差し込まれ、又は運転席若しくはその周辺に放置されていて被害に遭ったもの。

警察庁「自動車盗難等の発生状況等について」をもとに作成

## 防犯は「異変に気づける環境づくり」から

空き巣も車両盗難も、犯人は「発見されにくい」「通報されにくい環境」を好みます。そのため私たちは、異変に早く気づく・状況を確認できる環境を整えることが重要です。

—Secualは、住宅と車をまとめて見守ることで、異変に早く気づける環境づくりを支援します。

### 『ホームセキュリティ』

- ✓人の動きや生活の変化をセンサーで検知
- ✓異常があればスマホに通知
- ✓外出中でも自宅の状態を確認可能
- 👉留守中でも異変を把握しやすくし、発見の遅れを防ぎます。

### 『カーセキュリティ』

- ✓駐車中の車両の位置を遠隔で確認
- ✓持ち主が意図しないエンジンON/OFFを検知してスマホへ通知
- ✓自宅以外（旅行先・外出先）でも管理可能
- 👉駐車場所を問わず、車両の異変を見逃しにくい環境をつくれます。

### 『Secual Homeアプリで一元管理』

これらの機能はすべて「Secual Home」アプリで一元管理できます。

- ✓自宅と車両の状態を同時に把握
- ✓外出中でも一つの画面で確認
- ✓異常時の通知も一元化
- 👉家と車をまとめて見守ることで、異変に気づきやすく、迅速な対応につながります。



## 元警視庁公安部 / 防犯コンサルタント 松丸俊彦氏からのアドバイス



夏休みや帰省シーズンは、住宅地から人の気配が減り、犯人にとっては周囲を観察しやすい時期になります。

犯人は鍵だけを見ているわけではありません。郵便物の状態や夜間の明かり、人の出入りなどから、「誰もいない」「異変に気づかれない」と判断して犯行に及ぶケースもあります。

防犯設備を整えることはもちろん大切ですが、それと同じくらい重要なのが、日常の気配をなくさないことです。夏休みは普段と生活パターンが変わる季節だからこそ、自宅や車がどのように見えているかを改めて意識していただきたいと思います。

## 不在が増える季節だからこそ

夏休みや帰省など、不在が増える季節だからこそ、住宅だけでなく車も含めて「今どうなっているか」を把握できる環境づくりが重要になります。

住宅侵入も車両盗難も、これからは個別に考える時代ではありません。家と車、そして暮らし全体をどう見守るか。その視点が、防犯の新しいスタンダードになりつつあります。

Secualはこれからも、生活の変化を捉え、異常や違和感をいち早く知らせることで、誰もが安心・安全で、豊かな暮らしを続けられる環境づくりに取り組んでまいります。